

今こそアナログ文房具で仕事の幅を広げよう

オフィス環境はデジタル機器に埋め尽くされていくが、だからこえ、まだまだオフィスに剥がさなければならぬのが面倒くさい。

その文房具を活用せよとの中には書類が多く、そんなときは、プラ勧めめるのが、榎本勝仁 会議の資料には紙が欠スチックタイプの透明著「100円文具『超』かせない。そんなと付箋を使うといい。カ仕事術」(東洋経済新 1500円) 要なページだけを色つき、アピールしたい重きのコピー用紙に印字

本書で

取り上げ

るのは、

100円

ショップ

で売って

いるごく

一般的な

出版 HOT NEWS



ーしても写らない優れたものだ。

他にも、

透明でない

ロール型の

付箋もある

り、好きな

文房具ばかりなので、金もかからない。デジタルワークスの中で生まれた隙間を、あえてアナログな文房具を駆使して埋めることができれば、同僚とも差がつくはずだ。

するのだ。資料を見た人にとって特別な部分として印象づけられ、あなたの熱意も伝わりやすくなるのではないか。

長さに切れば、書類の重要事項の目隠しとしても活用できる。

また、確認の必要があるページに貼る付箋は、非常に重宝する。内容の暗記にも役立つ。アイディアの論理を展開させるのに便利な方眼ノートや、プレゼン

トレーシングペーパーなどの活用方法も紹介。

例えば、ピンクや水色などの色が付いたコ

が、下の文字を読むと